

「富山県経済・文化長期ビジョン」の策定について

平成 28 年 9 月 2 日
知 事 政 策 局

1 趣 旨

昨年秋から 4 回にわたる懇話会や青年部会での議論、タウンミーティングでの県民からのご意見を踏まえ、このたび、経済、文化やこれらを担う人づくりを中心とした「富山県経済・文化長期ビジョン」を策定したものの。

2 長期ビジョンのポイント

- 新幹線開業後の「とやま新時代」のスタートにあたり、おおむね 30 年後の 2045 年を展望年次とした未来を構想するビジョンを策定
- 今後予測される人口減少、パワーバランスの多極化、第 4 次産業革命による技術革新等を見据え、富山県の 3 つの将来像を提示（「新たな価値創造 2045」、「グローバル & ローカル 2045」、「人、地域が輝く 2045」）
- 将来像の実現に向けて、9 つの展開方向と 30 の新たな構想を掲げるとともに、各構想を戦略的に推進するため、経済、文化、人づくりのテーマ別に政策目標を設定

3 長期ビジョンの概要

<基本的考え方>

1 内外の潮流

- 人口の変化：日本は 2050 年に 3000 万人減少、世界はアジア・アフリカ中心に増加
- 世界は一極から多極化に：経済は米国一極集中から中国・インドなど多極化
- 第 4 次産業革命による技術革新：労働生産性の向上の一方、仕事が AI 等で代替される可能性
- 環境の変化・災害リスクの増大：気候変動による気温上昇、南海トラフ地震の発生確率増大

2 ビジョンの性格

- 「未来を構想するビジョン」
30 年後の在るべき富山県の将来像と採るべき方策をとりまとめ
- 「県民と県が将来像を共有するビジョン」
オール富山で力を合わせ、県づくりの道しるべを県民と県が共有
- 「富山県の強みを磨き、活かしていくためのビジョン」
強みをさらに磨いて活かし、弱みを強みに変えていく政策を推進

3 策定に当たっての視点

- (1) 経済と文化の相互作用と新たな価値創出
- (2) 第 4 次産業革命への対応
- (3) グローバル化への対応、発信力の強化
- (4) 「富山アイデンティティ」の継承
- (5) 地域における多様な人材育成
- (6) 新ゴールデンルートの形成から「大ゴールデン回廊」の創出

<ビジョンの構成>

1 3つの将来像

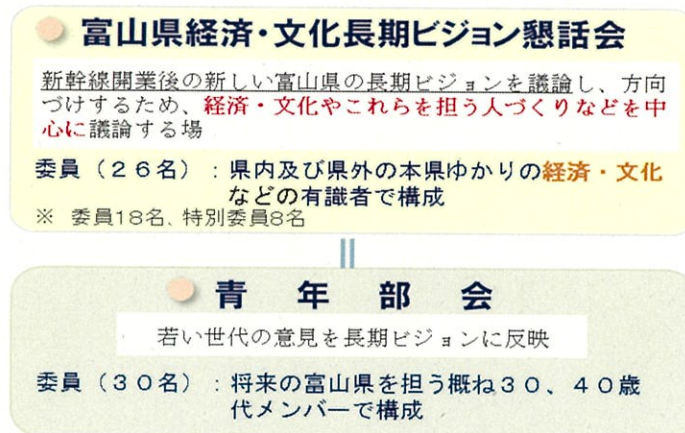
<p>【将来像1】 新たな価値創造2045</p> <p>第4次産業革命による技術革新、温暖化への対応、質の高い新たな文化の創造、未来社会に向けた人材育成など、新たな価値を創造し続ける、と同時に、守るべきものを守り、あるものを活かす社会</p>	<p>【将来像2】 グローバル&ローカル2045</p> <p>「グローバル&ローカル」の融合により、新たなイノベーション、洗練されたデザインによる新製品、新サービスや、磨き上げた質の高い文化や人材などの魅力(ソフトパワー)により、国内外から人や企業が集積している社会</p>	<p>【将来像3】 人、地域が輝く2045</p> <p>すべての人のキャリアアップの環境が整備され、誰もが文化活動に参加し、才能ある多様な人材に溢れている。若者、女性、高齢者など多様な人材や地域力が研磨され、ダイバーシティを尊重する心豊かな県民が集い、経済と文化が響きあい共生している社会</p>
---	---	--

2 9つの展開方向、30の新たな構想、3つのテーマ別政策目標

【詳細は別添】

4 長期ビジョン策定の経緯

【策定体制】



【策定スケジュール】

平成27年10月	第1回富山県経済・文化長期ビジョン懇話会(10/16)
11月	第1回青年部会(11/9)
12月	第2回富山県経済・文化長期ビジョン懇話会(12/3)
平成28年1月	第2回青年部会(1/15)
3月	第3回青年部会(3/4)
4月	第3回富山県経済・文化長期ビジョン懇話会(4/12)
3月	第4回青年部会(6/24)
7月	第4回富山県経済・文化長期ビジョン懇話会(7/15)
7月~8月	タウンミーティング(県内3ヶ所) パブリック・コメント(8/8~8/23)
9月	「富山県経済・文化長期ビジョン」策定

5 その他

構想の実施に当たっては、将来像の実現に向けて、

- ①すぐに事業としてとりかかるもの
 - ②枠組みを作って事業化に移行するもの
 - ③技術革新等の社会動向を勘案して中長期的に対応するもの
- など、緊要度を勘案して実施。

9つの展開方向、30の新たな構想、3つのテーマ別政策目標(概要)

	経済 (10の構想)	文化 (10の構想)	人づくり (10の構想)
新たな価値創造2045	<p>1 生産性向上と新たな価値創造の創出 労働力減少に対応した生産性向上とストックを活かした新たな需要創出を図る「とやまバリュー」の創造</p> <p>(1)第4次産業革命を勝ち抜くための製造・研究開発拠点の整備</p> <p>(2)環境・エネルギーフロントランナー富山の創造</p> <p>(3)バイオ技術等を活かした「世界に注目される薬都とやま」の創出・新展開</p> <p>(4)成長産業として力強く魅力あふれる農林水産業の確立</p> <p>(5)北陸新幹線大阪延伸による大ゴールデン回廊形成と拠点性の強化</p>	<p>4 地域文化が生活に溶け込む「生活文化デザイン王国」の形成 富山の文化的ポテンシャルを活用・発展</p> <p>(1)アート・デザイン県とやまの創出</p> <p>(2)未来へ示すクリエイティブな文化(クールトヤマ)の形成</p> <p>(3)海・山近接の富山の魅力を活かした「中山間ニューライフコミュニティ」の形成による里山振興</p>	<p>7 価値創造力を高める学校教育プログラムの確立 社会や企業が求める基礎力、イノベーションを生み出す「富山・新スタンダード」の確立</p> <p>(1)未来のイノベーションを起こすために必要な人材の育成</p> <p>(2)未来社会が求める人材を輩出する新たなキャリア教育システムの確立</p>
グローバル&ローカル2045	<p>2 世界に存在感を示す「とやまグローバル戦略」の展開 新興国等をはじめとした成長エネルギーを取り込んだ世界で存在感を示すグローバル戦略の形成</p> <p>(6)「とやまグローバル戦略」の推進</p> <p>(7)富山ときどき空港における国内外の航空ネットワークの更なる展開</p> <p>(8)選ばれ続ける観光地 富山</p>	<p>5 世界に開かれた「とやま文化」の発信 文化の国際化を促進し、文化と産業、文化と観光の親和性を高め、とやま文化を発信、コミュニティネットワークを構築</p> <p>(4)世界への発信による「とやまの文化GDP」の拡大</p> <p>(5)舞台芸術拠点「TOGA」による地域の活性化</p> <p>(6)富山サポーターグローバルネットワークの構築</p> <p>(7)とやま食文化の振興・展開</p>	<p>8 ふるさと教育とグローバル教育の融合 (Think global, Act local) 学校、家庭、地域が一体となったふたふたさと教育(学習)を推進するとともに、グローバルに対応した教育環境を整備</p> <p>(3)富山が誇る「ふるさと富山」の探究</p> <p>(4)郷土を学び英語で伝えるコミュニケーション能力の養成</p> <p>(5)大学や高校におけるグローバルな教育環境の整備</p>
人・地域が輝く2045	<p>3 個の力を磨き上げ、潜在力を高める人材戦略の推進 高齢者や女性のパワーアップ、高度専門人材の育成確保、クリエイティブ人材の創出など人材戦略の推進</p> <p>(9)生産年齢の引き上げによる高齢者の活用促進 (「かがやき現役率」の向上)</p> <p>(10)若者、女性、障害者活躍のためのキャリア促進</p>	<p>6 文化芸術の力による「元氣とやま」の牽引 文化の場づくりと文化の人づくりを促進し、文化の力が持つ心の癒し、生きがいづくりにより元氣富山を牽引</p> <p>(8)学校と地域でつくる文化の担い手育成</p> <p>(9)芸術文化活動を通じた県民総活躍の場の創出</p> <p>(10)文化芸術資源をもとにした文化芸術クラスタの形成</p>	<p>9 地域の生産性、問題解決力(地域力)の向上 地域力を高めるため、地域内での情報の密度を引き上げ、経済や文化が響きあう地域を支え、絆をつなぐ人づくりを推進</p> <p>(6)地域共生社会推進のための地域人材づくり</p> <p>(7)健康寿命日本一とやま</p> <p>(8)スポーツ活動を通じた県民総活躍の推進</p> <p>(9)最先端地域交通システムによる交流促進</p> <p>(10)最先端技術を活かした防災先進県とやま</p>

政策目標

日本で最もイノベーションが生まれやすい県

日本で最も「心の元氣」が感じられる県

日本で最も人が育ち、集い、活躍することができる県

経済(1) 第4次産業革命を勝ち抜くための製造・研究開発拠点の整備

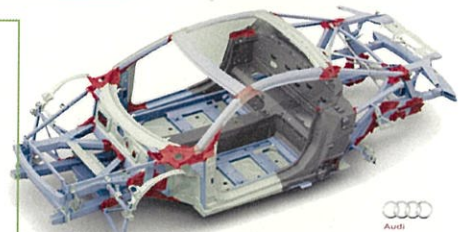
概要

- IoT、ビッグデータ、AI、ロボットなど「**第4次産業革命**」を勝ち抜く新技術によるこれまでにない画期的な高付加価値の商品やサービスの開発
- ナノテク、高機能素材など富山の強みである素材分野の技術を活かす取組み
- ものづくり研究開発センター、県立大学、富山大学等が連携するオープンイノベーションにより、**宇宙・航空機分野など成長産業へ参入**



新たに講ずべき施策

- IoTを活用した「**富山型スマート工場**」を、県内全域に普及
- 富山の強みである素材技術について、産学官連携で、オープンイノベーションによる**国際的で国内屈指の「材料科学研究拠点」**を整備
- 電気エネルギーで走る**完全自動走行車の部品供給拠点**の形成
- アルミ技術**等を活かした**宇宙用大型構造物(ロケット燃料タンクなど)**、**宇宙太陽光発電(送電)システム**の研究検討



1

経済(2) 環境・エネルギーフロントランナー富山の創造

概要

- G7の「**富山物質循環フレームワーク**」を発展させ、**低炭素・循環・自然共生型**の持続可能な世界の中の環境フロントランナーの創造
- 地熱資源量・包蔵水力全国2位、アルミ等のものづくり技術を活かし、地熱・小水力等の**再生可能エネルギーの利活用**、**エネルギーの地産地消を促進**、「**水素社会**」の構築

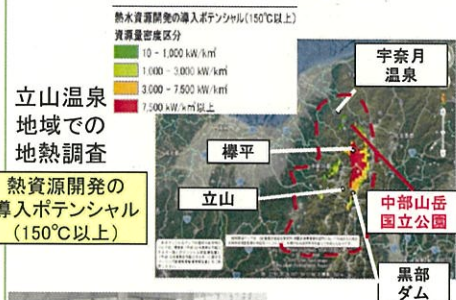


正味でゼロエネルギー



新たに講ずべき施策

- 廃棄物需給のマッチングなど、資源効率性・3Rの推進による**ゼロエミッション**※1社会の実現(食品ロス・食品廃棄物対策など)
- マイクログリッドシステム※2整備による**次世代スマート工業団地づくり**(産業部門)
- 太陽光発電や省エネ機器などの導入促進による**ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの普及**(民生家庭部門)
- 豊富な資源量を活かした**地熱発電所の建設**や小水力発電の推進
- 将来の純国産資源として期待される**メタンハイドレート**の調査研究
- 燃料電池車(FCV)**や**水素ステーション**の普及拡大、アルミ産業技術を活用した**水素の保存**に関する研究開発など「**水素社会**」の構築



2

※1 廃棄物の発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)により、全体として自然界への廃棄物の排出をゼロにすること。

※2 太陽光発電や小水力発電などの小規模な分散型電源を相互に結び、無駄の少ない効率的な運用を可能にするシステム。

経済(3) バイオ技術等を活かした「世界に注目される薬都とやま」の創出・新展開

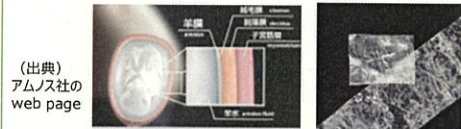
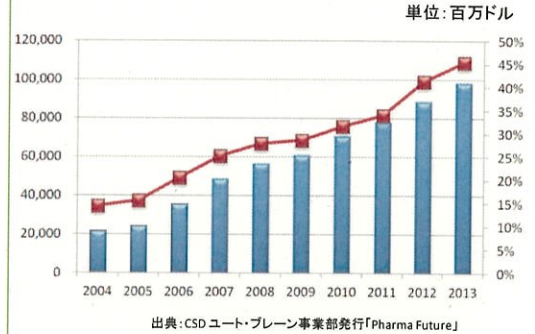
概要

- 富山県の医薬品産業の伝統や技術を基礎に、バイオ技術を活用した医薬品(バイオ医薬品)等の最先端分野の研究開発を促進。「世界に注目される薬都とやま」の創出
- バイオ医薬品等の高付加価値製品の研究開発を促進するため、共同利用の研究設備を配備するなど、**県内における研究開発を支援する体制の整備**
バイオ医薬品等の**研究開発、製造販売、そしてこれらを支える人材の育成・供給に関する拠点化**

新たに講ずべき施策

- バイオ医薬品等の高付加価値製品の研究開発を促進するため、**共同利用の研究設備を配備**するなど、支援体制を強化
- 医薬品分野と他の分野のものづくり技術が融合した高付加価値な製品や、それらの製造機器の開発が進むよう、**県内メーカーの連携を促進**(例:印刷会社の先端技術を活用した**細胞シートの量産**)
- 国の大型プロジェクトの成果を活かし、**環境負荷の少ない酵素反応**による医薬品生産の実用化
- 県立大学に設置する医薬品工学科や、県内大学等と連携した取組みによる、**医薬品産業を支える人材の育成と供給**。また、医薬品関係の交流の中心地となるよう、**県内の産学官と県外の医薬品関係機関の交流を促進**
- アジア地域等の行政官や医療関係者との**ネットワーク構築**を通じ、**医薬品産業の国際展開を促進**
- 再生医療**の人工臓器の作成等に関する**開発の支援**や関連する**資材・機器の生産拠点の形成**

世界上位50品目におけるバイオ医薬品の売上高・率



(出典) アムノス社の web page

胎盤の断面模式図(左)と乾燥羊膜(右) 3

経済(4) 成長産業として力強く魅力あふれる農林水産業の確立

概要

- 最先端技術の活用、他分野との連携を推進し、担い手の所得を増大し、**成長産業としての農林水産業を確立**

新たに講ずべき施策

- ICTやロボット技術等を活用した「**とやま型水田スマート農業**」の構築(大区画ほ場での無人ロボット農機の活用、熟練農業者の栽培管理システム等の実用化)
- 高品質で競争力のある**食の宝庫「食の王国とやま」**づくり(健康機能性水稻新品種等の育成や園芸作物の生産拡大)
- 「**スギ花粉症ゼロ社会**」の実現と次世代への豊かな森の継承(優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の全国普及、県産材を使用したCLT(ひき板を直交方向に積層した材料)工法による木造建築物への活用促進)
- 天然のいけす「**富山湾海洋牧場**」の形成(新たな海洋ビジネスとして、**大規模養殖**へのチャレンジ(イワガキや海藻類などの無給餌養殖、表層から深層までの多層型養殖)、**ICT技術活用(定置網魚群の遠隔監視)**による水産業の生産性向上、海中レストランなど6次産業化の推進)



「ロボット農機(可変施肥田植機)」
~ほ場の肥沃度に応じて施肥量を自動調節~



ロボット農機の活用により
省力化が可能な大区画ほ場



チューリップ球根ネット
栽培用ロボット



「立山 森の輝き」の植栽



稚魚の放流



ICT技術を導入した
次世代施設園芸拠点



移動センサ

経済(5)北陸新幹線大阪延伸による大ゴールデン回廊形成と拠点性の強化

概要

- 北陸新幹線が大阪まで開業すれば、北陸経由で東京と関西を結ぶ新しい「ゴールデンルート」が形成。太平洋側のルートと合わせて、世界的な経済・文化圏「大ゴールデン回廊」(6500万人)を創出
- 自然、文化、産業、食など多彩な魅力を有する富山県をはじめとする北陸がその回廊の重要な一角を担うとともに、富山県が環日本海の拠点県として、人が輝いてクリエイティブに生きられる健康日本一の県として世界から注目



新たに講ずべき施策

- 世界有数の「大ゴールデン回廊」の形成に貢献するため、国内の新幹線を乗り換えなしで運行する「環状新幹線」を国に働きかけ
- 北陸新幹線の大阪開業、太平洋側と日本海側をつなぐ大動脈である東海北陸自動車道の4車線化(当面付加車線設置)、能越自動車道の利便性向上、日本海側の総合的拠点港伏木富山港、富山きときと空港の活性化など陸海空の交通基盤を整備し、富山県の拠点性を強化
 - 例えば、新幹線に貨物スペースを設置し、物流を活性化
(例:大宮駅で積込、新高岡駅で積卸後、東海北陸自動車道で高山市内に配送)
- 富山きときと空港の航空ネットワークの充実(LCC、リージョナルジェットの活用など)、伏木富山港のクルーズと富山きときと空港のチャーター便を組み合わせた「フライ&クルーズの推進」



経済(6)「とやまグローバル戦略」の推進

概要

- 独創性のある製品で新興国の需要を喚起し、グローバルニーズにきめ細かく応えることで新たなイノベーションの創造や製品・サービスを向上
- 工業製品、工芸品、農林水産物等の輸出額の大幅な拡大、対日投資の促進などグローバル戦略を展開し、高付加価値製品を創出



富山県ものづくり総合見本市2015

新たに講ずべき施策

- 「とやまグローバル戦略」の策定
- 「とやま産業海外展開支援機構(仮称)」を官民一体で設立
 - ・高付加価値製品、環境システム、農林水産物等の輸出促進、企業の海外展開支援、対日投資の促進、留学生受け入れ等を専門集団のサポートによりワンストップで実施
- 今後の発展が見込まれる国や地域との新たな経済交流の促進 (TPP加盟国やインド、南米、アフリカなど)
- 富山エクスポート拠点基地の整備
 - ・伏木富山港や富山きときと空港における農林水産物輸出ターミナルの整備
漁場と近接する特性を活かした鮮魚輸出の拠点化
長期鮮度保持が可能な大規模集出荷施設の整備
 - ・日本海側最大フードメッセ(見本市会場)の開設
海外バイヤーとの商談・交流が可能なビジネス拠点を整備
大規模産直市場の併設(各産地とのネットワーク化を図り、農林水産物の安定供給を確保)



2016機械要素技術展



ミラノ・トリエンナーレ国際展



香港フードエキスポ2014

経済(7) 富山きときと空港における国内外の航空ネットワークの更なる展開

概要

○リージョナルジェット(低燃費、航続距離の延伸)の活用等により、富山きときと空港と国内外の新たな都市との航空ネットワークの充実や物流拠点の整備を図り、環日本海・アジア交流の拠点空港化

新たに講ずべき施策

○現在、開発が進められているMRJをはじめとした低燃費で航続距離が長いリージョナルジェットの活用等により、富山きときと空港と国内外の新たな都市との航空ネットワークの充実

(MRJ90LRの場合、滑走路1740mで離陸可能、航続距離3770キロ(例:香港、西安、グアムまで運航可能))

○国内外の航空ネットワークの充実を進めて行くために必要となる、富山きときと空港の機能強化の推進(空港施設等の関連インフラの整備)

○農林水産物や世界に長く通用するような高付加価値製品(工業製品や工芸品等)の輸出拠点となるターミナルの整備

<MRJと小型ジェット機の比較>

機材	MRJ90LR	A320-214
座席数	92席	110席
航続距離	3770km	5090km
離陸滑走距長	1740m	2240m

※出典:数字で見る2015、三菱航空機(株)ホームページ



マニラ、ハノイ、パラオまで運航可能

7

経済(8) 選ばれ続ける観光地 富山

概要

○観光資源を大いに活用し、外国人観光客等の取り込みや観光関連の投資を促進することで、地域経済の活性化

○「立山黒部」や「世界遺産五箇山」の高付加価値化、「富山湾」などの観光資源のブラッシュアップを進め、「海のあるスイス」という観光ブランドを醸成

○本県の食や伝統文化に裏うちされた上質なライフスタイルを発信することで、「選ばれ続ける観光地 富山」の実現

新たに講ずべき施策

○立山地域における魅力あるガイドツアーや春スキーなど観光商品化の促進

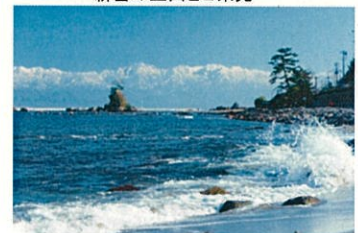
○「立山黒部」の世界ブランド化に向け、環境保全と両立させるための魅力の磨き上げに必要な施策についての検討とさらなる取組みの推進

○立山の雄大なロケーションで富山湾の海の幸を味わえる上質な宿泊施設の整備など、本県の観光資源の強みの融合の促進

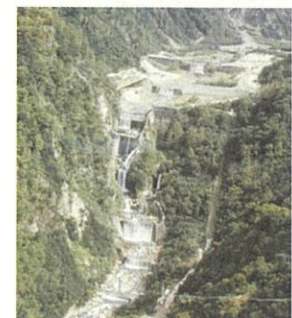
○北アルプスを囲む隣県とのアクセスを向上させ、広域観光の展開を図るため、北アルプスゴールデンルート構想を推進



新雪の立山とご来光



雨晴海岸から見た立山連峰



白岩堰堤砂防施設

8

経済(9) 生産年齢の引き上げによる高齢者の活用促進(「かがやき現役率」の向上)

概要

○超高齢社会の中、従来の生産年齢の上限を引き上げ、「今」の仕事にやりがいを感じながら健康に地域で生活している、例えば65歳以上の就業率といった「**かがやき現役率**」の向上

○高齢者がいつまでも潜在的な能力の向上を図り、**健康で輝ける社会**を構築

新たに講ずべき施策

きめ細かなカスタマーサポートに高齢従業者の知恵

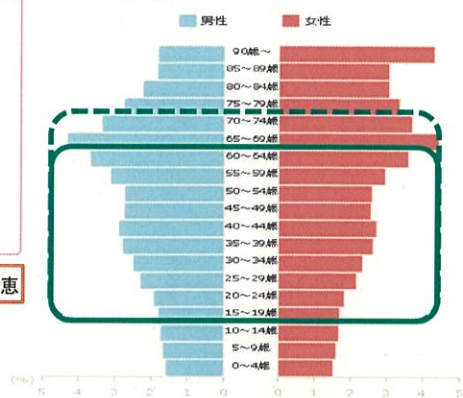
○第4次産業革命後も必要だと見込まれる**対人サービス**等の業務、ICTを活用した高齢者による若者の**遠隔指導**など高齢者の活用促進。また、高齢者の知識・スキルをデジタルアーカイブ化し、**若者にもものづくり技術等を伝承**

○**高齢者の起業**に対する全面的なサポート(事業承継の方法など)

○モビルスーツ、自動運転自動車の利用支援など、**ロボット技術等**を活用した働きやすい環境の整備

○高齢者が外に出て活動すること(**ADL(日常生活動作)**)を促すスマートフォンアプリ(位置情報を活用した散歩アプリなど)等の開発を活用し、**健康で輝ける社会構築**に貢献

富山県 2040年



老年人口(65歳以上): 323,178人 (38%)
生産年齢人口(15歳~64歳): 435,133人 (51%)
年少人口(0歳~14歳): 83,120人 (9%)

経済(10) 若者、女性、障害者活躍のためのキャリア促進

概要

○若者、女性、障害者等が自発的に潜在的な能力を高め、第4次産業革命に対応した**きめ細かなキャリア促進支援**を実施

新たに講ずべき施策

○**AI技術**で将来の成長分野、求められるスキルを**予測・分析**
→ AIが本人情報を基にオーダーメイドによる**職業プログラムを開発**

○例えば従来の正社員、非正規社員といった概念にとらわれずに、自分の意思で働く場所と時間を選べる柔軟で自由な**第三の働き方**を可能に

・時間・空間による労働者管理(社員が同じ場所で同じ時間、仕事をする)から
プロジェクト管理(プロジェクトの下に様々な立場から人が集まり仕事をする)へ
・テレワークを強力に推進

○**AI・ロボット化**による**家事・育児・介護の負担軽減**技術の活用を促進し、女性の潜在労働力を引き出す。

○働き方改革や女性の登用・再就職の促進に取り組む企業に対する**インセンティブ付与(プラチナ認証)**(例:公共事業の入札参加資格審査数値の加点等)

(認証の例)当面、女性管理職15%以上
男性の育児休業取得率10%以上

○**歩行支援などのロボット技術**や、コミュニケーションが困難な障害者等が自分の考えを**可視化・言語化して伝達する技術**の活用促進、農福連携の推進など、**障害者の活躍の場を大幅に拡充**

テレワーク



(出典) 産業技術総合研究所ホームページ

文化(1)アート・デザイン県とやまの創出

概要

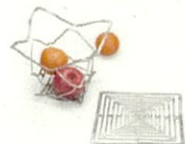
- 第4次産業革命による生活様式の変化に適合し、「**TOYAMAブランド**」を創出して世界に発信
- 伝統工芸を担う人材の育成や、**アートとデザインを活用した産業・文化の活性化**による魅力ある地域づくり



ミラノ・トリエンナーレ国際展に参加

新たに講ずべき施策

- 県総合デザインセンターを中心に、富山のデザイン力を活かした商品開発を強化し、日本のプロダクトデザインをリードする「**デザイン拠点TOYAMA**」の創造（アジア・欧米とのデザイン交流による**世界へのブランドの浸透**、デザイン系大学とのネットワーク構築、国内外のデザイナー・企業等の共同開発等のための**施設機能強化**）
- 高度な技法が将来世代に継承**されるよう、伝統工芸・デザイン人材の育成のための「**とやま未来伝統産業カレッジ(仮称)**」の開講
- 産業と文化の両方の視点から人材の育成
文化施設等を利用して**KOGEIの魅力**を発信
アートとデザインの活用で産業・文化の活性化、魅力ある地域づくり



富山プロダクト選定商品
【能作 KAGO-スクエア】



富山県美術館

富山県総合デザインセンター
全国唯一のデザイン専門の県立試験研究機関

11

文化(2)未来へ示すクリエイティブな文化(クールトヤマ)の形成

概要

- クリエイティブな商品制作の人材育成、コンテンツ産業などの集積を図ることで、未来へ残る**普遍的でクリエイティブな文化(クールトヤマ)**の形成



湊川カラクリ時計「虹の橋」(水見市)

新たに講ずべき施策

- 海外のクリエイターと共同作品制作の機会を設けるほか、若手クリエイター等のまちなかでの開業を支援するなど、アニメをはじめとしたクリエイターの育成支援を行い、**クリエイティブ産業・人材を集積**
- 富山の工芸技術水準の高さを活かし、アニメといった**コンテンツと伝統工芸を組み合わせ**た**新ジャンル**を形成

(例) 町に溶け込んだアニメキャラクターの銅像、アニメキャラクターの五月人形等の商品

- マンガ・アニメの舞台が豊富な本県への**国内外からの観光客を積極的に呼び込む**ため、例えば既存の文化施設のスペースを活用し情報発信



GAINAX・中島かずき/アニプレックス・KONAMI・テレビ東京・電通



ドラえものの散歩道(高岡市)



アニメなどコンテンツ産業に携わる人材集積のため、南砺市が整備したクリエイタープラザ(通称:桜クリエ、H28.4月オープン)

12

文化(3)海・山近接の富山の魅力を活かした「中山間ニューライフコミュニティ」の形成による里山振興

概要

- 海と山が近接した富山の魅力ある中山間において、快適で楽しい中山間地域移住のモデルづくりを促進
- 里山の資源を活用した体験型・滞在型のエリア形成により、**伝統文化の保全・継承**や交流人口の拡大、雇用を創出



ヤングミドル層の農業体験



体験施設

新たに講ずべき施策

- 多様なスキルを身につけた**ヤングミドル層の移住促進**
(県産材による空家の改築、農地・林地の提供等、ICTを活用したビジネス展開を支援)
- **里山資源の循環利用**による持続可能なコミュニティづくり
(森林バイオマスや小水力発電によるエネルギーの自給)
- **里山ファーマーズ・ヴィレッジ**の整備
地域の資源(既存の施設、自然、食文化など)を活用し、子供から大人までの観光客が周年で「見る」「遊ぶ」「学ぶ」「食べる」を楽しめる体験型・滞在型の魅力的なエリア形成を促進

・ファーマーズマルシェ、**農家レストラン**、**宿泊施設(コテージ、ペンション)**、6次産業化加工施設(かぶらずし加工体験等)、農作業体験ほ場や体験畜舎、**伝統文化体験** など
(想定例): くらべ牧場まきばの風、グリーンパーク吉峰などの既存エリアを発展的に整備



マイクロ水力発電機



6次産業化施設

文化(4)世界への発信による「とやまの文化GDP」の拡大

概要

- 世界に誇れる質の高い文化の創造、世界各国からアーティスト等を招聘した**国際イベントの開催**など、世界各地とダイレクトに繋がる文化交流
- 世界から観光客、芸術文化人が集う芸術文化の拠点を形成し、「とやまの**文化GDP**」の拡大



TOKYO ● 1964 TOKYO 1964 TOKYO ● 1964
亀倉雄策「東京オリンピック」(1962年)



とやま世界子ども舞台芸術祭



瑞龍寺



勝興寺本堂



立山連峰と大伴家持

新たに講ずべき施策

- 世界五大ポスター展の「世界ポスタートリエンナーレトヤマ」や、世界三大アマチュア演劇祭の「とやま世界子ども舞台芸術祭」など、国際文化イベントを発展させ、**新たなイベントの形成・誘致**
- 特色ある施設空間の県立文化施設や文化財を**ユニークベニューとして活用**するなど、産業施設、文化施設や文化財の観光資源化
例えば寺院でコンサートや展覧会、茶道・華道・着付けなどの日本文化の体験イベントを開催
- 越中万葉や大伴家持などの文芸や、アニメなど幅広いジャンルの本県ゆかりの作品を高志の国文学館などが国内外に発信
(**高志の国文芸(「TOYAMA literature」)の確立**)

文化(5) 舞台芸術拠点「TOGA」による地域の活性化

概要

- 国際的に定評のある「TOGA」で、地域密着の文化資源等を戦略的に活用した芸術文化の創造と発信
- アジアの舞台芸術の拠点**を形成し、国内外からの交流人口の拡大による過疎地域の活性化



中高生向けトレーニング



スズキ・トレーニング・メソッド



利賀の舞台での公演



利賀国際キャンプ場グルメ館



利賀芸術公園野外劇場



鈴木忠志氏演出「世界の果てからこんにちは」

新たに講ずべき施策

- アジア諸国の教育・文化機関や欧米の芸術家等と協力して、国際的に優れた舞台芸術作品の創造と発信
- 国内外の演劇人や芸術文化に高い関心を有する若者や熟年の方向けのトレーニング・プログラムや座学**を定期的を実施（例えば春期・夏期に集中的に実施）
文化や社会・経済に関する講義も行うことにより、国際的な視野を持つ、**舞台芸術を担う人材や舞台芸術に高い関心を持ちサポートする人材の育成**を推進

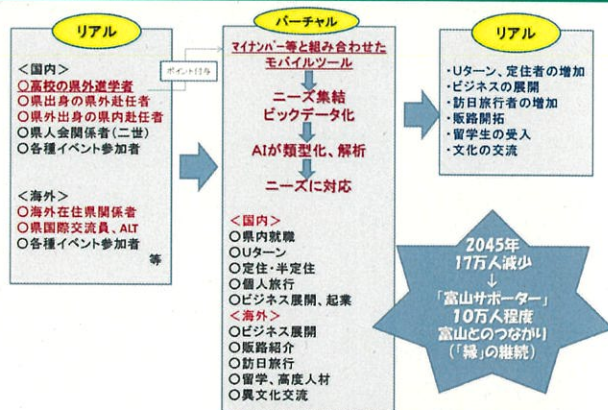
文化(6) 富山サポーターグローバルネットワークの構築

概要

- 人口減少の中、国内外で活躍する富山とつながる「**富山サポーター**」を将来にわたって10万人程度を確保
少子化対策を講じても2045年には17万人の県民(生産年齢人口)が減少する見込み
- グローバルネットワークを活用した交流、ニーズのマッチング、異文化交流**など、従来の地域における富山の「**縁**」を越えた**新たな絆**を構築し、新しいバーチャルな「とやまコミュニティ」の社会・文化を創造
- **ビッグデータを活用**してニーズにマッチした様々な情報を提供

新たに講ずべき施策

- プラットフォーム(バーチャルリアリティ)**を次世代ネットやモバイル上で構築し、県民と国内外の富山県関係者(「**富山サポーター**」)のネットワーク構築
- プラットホーム上で互いの潜在ニーズを**AI等も活用しながら最適マッチング**
例1) 県内高校生の大学進学時にモバイル登録を呼びかけ(県内就職、Uターン情報を提供)
例2) 県内事業者が自社CMを投稿し、富山に縁がある方の人材確保につなげる取組み
例3) 海外サポーターによる富山の魅力発信。サポーターの紹介により来県した訪日旅行者に対するインセンティブ付与
※マッチングの成果への特典を用意し、インセンティブ。SNSとの連携によるロコミ拡大
- **富山サポーターと県民による異文化交流**を実施(伝統工芸、食、配置薬システム)



プラットフォームのイメージ

文化(7)とやま食文化の振興・展開

概要

- 海・野・山という変化に富んだ自然の宝庫である富山県は、新鮮で多彩な食材、歴史にはぐくまれた**彩り豊かな食文化**が醸成
- 海外でも和食は健康で栄養豊かな食として人気であり、国内外に食材の宝庫「**食の王国とやま**」のイメージを確立し、富山ならではの**食文化の交流を促進し、海外展開**
- 県内シェフと海外シェフの**食文化を通じた人材ネットワーク**を構築



富山ならではの伝承料理



とやま食の匠による技の伝承



イタリアンフェアの様子

新たに講ずべき施策

- 外国人料理人向けに「**とやまの食**」をはじめとした**和食について研修できる場**を整備し、富山の**食文化の海外展開・交流**を促進
→「とやま食の匠」を講師として、県内シェフと海外シェフがとやまの食材を用いて伝承料理等を学ぶ
- 香港、シンガポール、欧米などのグローバル都市の富裕層向けの日本食レストラン等へ、高品質で付加価値の高い**富山県産食材**を供給し、本県農林水産物の需要と生産の拡大、ブランド力の向上
- 県産食材を活用したイタリア料理フェアなどの**食文化交流イベント**を開催し、国内外からの観光客誘致、**県内シェフの育成、県産食材の販路開拓**等を実施

17

文化(8)学校と地域でつくる文化の担い手育成

概要

- 次世代を担う子どもが豊かな感性と創造性をもった人間となるよう育成し、幅広い県民が文化の鑑賞、文化交流を行い、**文化の人づくり**を促進



富山大学学生によるワークショップ



美術館を活用した学校教育

新たに講ずべき施策

- 質の高い芸術文化や新しいデジタルアートなどを活用するなど、子どもを対象とした**芸術文化体験プログラム**の確立・展開
- 国内外の一流の**指導者等と協力した人材育成プログラム**の確立・展開
- 中心市街地の空き店舗や、空き家等を活用した「**街かど芸術文化ルーム**」を設置し、様々な分野の**若手芸術家等との交流や芸術文化体験活動を展開**
- 若手芸術家の作品の発表や展示の機会**の提供など、文化の次世代の担い手を育成
- 地域に根ざした伝統芸術や技術を体験する教育活動を展開し、伝統文化の継承者を育成（高岡市の小・中学校「ものづくり・デザイン科」など）

高岡銅器や高岡漆器など伝統工芸を学ぶ



学校1日美術館



全国総文祭2012

18

文化(9) 芸術文化活動を通じた県民総活躍の場の創出

概要

○文化の力を活用して、県民が生き生きと輝いて働き暮らし、充実した人生を送っている社会を推進

○幼少の頃から質の高い芸術文化に触れられる環境整備
 県民が文化活動等とともに楽しむ環境の整備
 若手芸術家の活動機会を創出し、文化を担う人材育成の推進

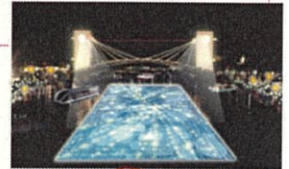
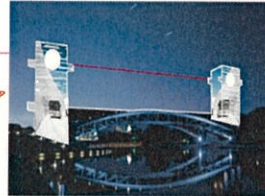


県民芸術文化祭

➡ 芸術文化活動を通じた県民総活躍の場の創出



環水公園シアター：
 天門橋展望塔の壁面や
 水面に、プロジェクション
 マッピングや四季折々の
 風景などを投影

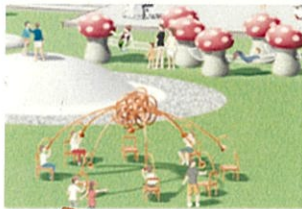


「fugan」等が周囲をクルーズ

新たに講ずべき施策

○県民の創作活動の発表の場ともなる富山県美術館や、美術館へのプロムナード「千年の桜並木」等を活用して、分野を越えたコラボや、子どもたちと文化の出会いの場をつくるため、「**環水公園芸術文化ミュージアム**」構想を推進

○音楽、舞踊等の創作活動家が舞台と同様の環境で練習し、交流できる**創造・訓練の拠点形成**



アートやデザインを体感できる
 富山県美術館の「オノマトペの屋上」

文化(10) 文化芸術資源をもとにした文化芸術クラスターの形成

概要

○県内各地域で育まれてきた**歴史的・文化的資源を発掘・再認識**し、その価値をさらに高め、新しい魅力を創造

○地域の文化的な潜在力を活用・発展させて、生活の中に文化が溶け込む県民生活の充実



金屋町のまち並み



越中瀬戸焼 庄楽窯



こきりこ節(五箇山民謡)

新たに講ずべき施策

○「井波彫刻」「越中和紙」「越中瀬戸焼」などの伝統工芸や、立山博物館などの文化施設、文化財など、**とやまの魅力ある文化芸術資源を活かしたジャンル別「文化芸術クラスター」の形成**

文化施設や伝統産業、文化財、食文化などの生活文化等も一体のものとして文化を幅広くとらえることで、観光等の関係分野や産学官の連携も行いながら戦略的に進める拠点

○県内美術館の収藏品や、獅子舞や民謡等の伝統芸能、生活文化等の保存継承のため、**デジタルアーカイブ化の推進**

○映像、音、においなど五感をもって臨場感あふれる鑑賞や体験ができるVR(バーチャルリアリティ)を活用した「**バーチャルミュージアム**」の構築

国内外の美術館と連携し、各館の収藏品等も鑑賞



「立山芦峯寺クラスター」(例)
 (布橋灌頂会+砂防施設群+立山博物館等)

人づくり(1) 未来のイノベーションを起こすために必要な人材の育成

概要

- 人間としての豊かな感性やチャレンジ精神などを持つ人材を育成するため、コミュニケーション能力等の基礎力(ヒューマンスキル)や基礎学力に加え、IT等の科学技術を使いこなせる能力(テクニカルスキル)を向上
- 未来の技術革新等に対応し、富山のイノベーションを起こす人材の育成

新たに講ずべき施策

<ヒューマンスキル>

- 異なる文化や考え方を持つ人とのディスカッションやディベートの授業への活用
→ 多様性を認め柔軟な考え方を持つ人材の育成
- アクティブ・ラーニングの推進
→ 自ら課題を発見し、解決する能力の育成



▲タブレット端末を活用した美術の授業

- 県内美術館や博物館、文学館等の科学・文化施設を活用した新学習プログラムの開発
→ 学校の教室内での学習や美術館等での実体験を組み合わせた学習プログラムを開発

- 県立高校において、高付加価値なサービスに共通するホスピタリティなどの教育プログラム開発、**専門コースを創設**し、低代替分野(人ではなければ提供できないサービス)で活躍する人材の育成

<テクニカルスキル>

高級レストランのソムリエ、一人ひとりの状態にきめ細かく応じた心のこもった介護サービス

とやま科学オリンピック: 参加者 H23:945名→H28:1200名
H28より中学3年生が高校部門に加え、中学部門にも参加可
H27「科学の甲子園ジュニア全国大会」(中学生6人チーム)優勝

- 科学技術の発展に対応できる教育環境の整備
- ICTリテラシーの育成、**プログラミング教育**等による論理的思考力の育成

- 県立高校に製品・商品対象の**プロダクトデザイン**専門学科創設

AI、ビッグデータ解析のキーマンとなる技術者

- 県立大学において、最新の情報技術の発展にも対応できる**データサイエンティスト**の育成

- ヒューマンスキルとテクニカルスキルを融合した人材の育成に向けた**県立高校でのモデル校の指定**

21

人づくり(2) 未来社会が求める人材を輩出する新たなキャリア教育システムの確立

概要

- 社会の急速な変化に対応した人材を育成するため、本県の先駆的なキャリア教育の取組みを活かし、産官学連携の**新たなキャリア教育システム**を確立

- 高校生の就職内定率
99.95%(H28.3) 全国1位
- 高校生のインターンシップ体験率
※卒業時の体験率
73.9%(H27)(全国 36.2%(H26))

新たに講ずべき施策

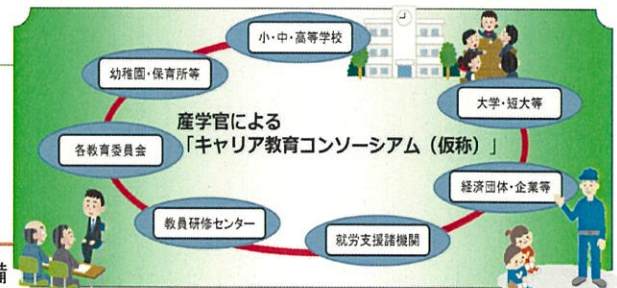
- 産官学による「**キャリア教育コンソーシアム(仮称)**」を設立

・**幼児期から高校まで、体系的なキャリア教育プログラムの開発**

- ・VR(バーチャルリアリティ)により仕事体験ができる環境の整備
→ 幼・保、小、中、高の各段階でVRを活用した職業・社会体験など
- ・産業観光の取組みと連携し、子どもの職業観を醸成

・「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業の新たな展開

- (独)教員研修センターの活動を通じて全国に普及



▲キャリア教育コンソーシアム(イメージ)



▲社会に学ぶ「14歳の挑戦」

22

人づくり(3) 富山が誇る「ふるさと富山」の探究

概要

○グローバル化が進展する中、富山県人、日本人としてのアイデンティティをもちながら国際的に活躍する人材の育成が必要

○ふるさと富山への誇りと愛着を育むため、かつての富山藩校広徳館の理念を引き継ぎ、学校、家庭、地域、企業等が一体となった**ふるさと教育(学習)**を推進



新たに講ずべき施策

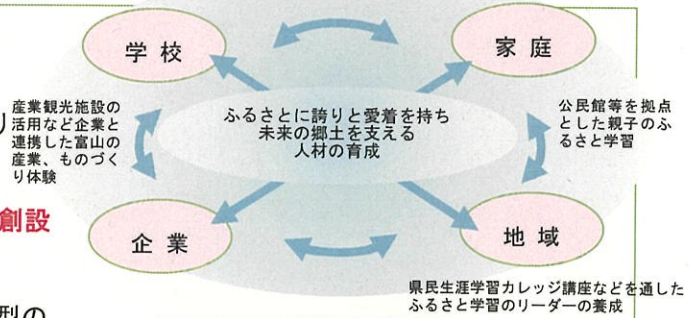
○子どもから大人まで**ライフステージに応じたふるさと教育(学習)の機会**を学校、家庭、地域、企業等が一体となって提供する体制づくり

○県立高校において**万葉集や富山湾、売薬**などについて、**教科横断的に探究する学科等を創設**
→ 富山の文化の伝承と新たな魅力の発見

○富山藩校広徳館の理念を引き継いだ**期間集中型のセミナーを開催**するなど、**ふるさと教育(学習)とグローバル教育が融合した人材育成**を推進

※ 富山藩校広徳館の理念： 財政難から反対論が強かったが、安永2年(1773) 6代藩主前田利興(ままだ としとも)の強い指導のもと、高い教養と事務能力の獲得を目的に、加賀藩藩校より20年ほど早くに創設。教科書を出版し、藩士だけでなく庶民にも安価に行き渡らせた。

「ふるさととやまの人物ものがたり」など
様々な郷土学習教材の活用



大伴家持と立山連峰



県民生涯学習カレッジ講座などを通じた
ふるさと学習のリーダーの養成

人づくり(4) 郷土を学び英語で伝えるコミュニケーション能力の養成

概要

○グローバル社会で、郷土を学んで理解を深め、対等にコミュニケーション可能な英語力を身につけ、**ふるさと富山を英語で語る**ことができる能力を「**とやまメソッド**」で育成



▲高校生とやま英語表現ハンドブック

新たに講ずべき施策

幼児～小・低学年＝親しむ 小・中学年＝聞く・話す 小・高学年＝聞く・話す・読む・書く
中学校＝簡単な情報交換・表現ができる 高校＝発表・討論ができる

○幼児期から高校に至るまでの**体系的な英語教育プログラム**の開発

○とやまメソッド(例)

- ・ふるさと教育(学習)の教材等を英語教育に活かした**教材開発**
- ・富山の豊かな自然を体感しながら英語を学ぶ**英語キャンプ**の実施

例：英語により、人が魚の捕まえ方を教え、人工知能が魚について説明・質問に回答

○富山を世界に紹介する小・中・高校生 **とやまジュニアガイド**の育成

例：フェイスブックやインスタグラムなどを利用して**定期的に英語で富山を発信**
県内の国際会議や交流イベントで**高校生がボランティア通訳や案内役**として活躍

▼Facebookでの観光に関する英語での投稿



人づくり(5) 大学や高校におけるグローバルな教育環境の整備

概要

- 留学生等との交流や留学経験で世界を体感し、国際感覚を養い、異なる文化や価値観の理解を促すとともに、グローバル社会で活躍するための能力（語学力やプレゼンテーション能力など）を習得する教育環境の整備



▲ポートランド州立大学語学研修(県立大)



▲清陽化工大学への留学(県立大)



▲SGHでの取組み(異文化理解講座-JICA)

新たに講ずべき施策

<県内高等教育機関>

- 国際学会等への参加や研究成果発表を大学の卒業単位として認定
- 県内高等教育機関が共同して語学教育や外国人留学生と交流を行う体制の構築
- 入試時に語学力や県内企業の海外事業所へ就職を条件とした学生募集や奨学金の支給等を行う仕組み(グローバル枠)の構築

<県立高校>

- 長期海外留学を必修とした新学科の創設
- 海外姉妹校との間でインターネット等を活用した日常的な国際交流や留学生の相互受入れ
- 中国語を習得するモデル校の指定

人づくり(6) 地域共生社会推進のための地域人材づくり

概要

- 人口減少下、子ども、高齢者、障害者、生活困窮者など支援が必要な住民を地域で支えていくことが必要
外国人をコミュニティの中に受け入れていくこともダイバーシティの観点から重要
- 「地域共生社会」の推進のため、住民が主体的に取り組む仕組みづくりや地域を支える人づくりを促進

児童、高齢者、障害者等を受け入れる、富山型デイサービス



新たに講ずべき施策

- 地域において様々な生活相談(育児・介護・障害・貧困)が行え拠点の整備
- 児童、高齢者、障害者などの福祉サービスの統合促進、これを支える多様な医療・福祉人材の養成・確保
- タブレット・ウェアラブル端末を活用した高齢者等の見守り強化や生活支援の充実
- 空き家に居住した若者と地域の高齢者等の支え合い活動の推進
- 市町村と連携し、「ソーシャルキャピタルマイルージ制度」を導入検討
- AI技術による自動翻訳システム活用で国際色豊かな多言語対応の環境整備と、ダイバーシティによる新たなコミュニティを担う人づくり

多文化共生により新たな価値の創造などに取り組むキーパーソンの支援、国際多文化共生フォーラムの開催 など



<ソーシャルキャピタルマイルージ制度>

(例)介護施設での活動

- ① 活動に応じ、マイルージ付与
- ② マイルージを貯める(活動実績確認)
- ③ マイルージを使い、地域に還元

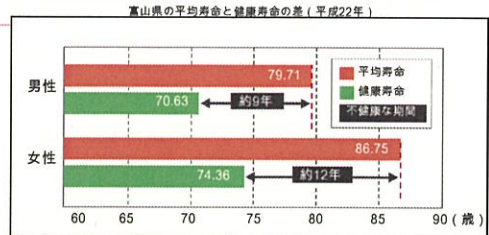
○マイルージ制度の導入効果

- ・地域共生(地域貢献)の意識向上と見える化
- ・人材不足分野などでの担い手確保
- ・高齢者の生きがい創出

人づくり(7)健康寿命日本一とやま

概要

- 食生活・運動習慣を改善し、健康診断受診率の向上等による早期治療等により**健康寿命の延伸**を図ることが必要
- 「次世代インフラ」等を活用し、**健康づくり**に取り組みやすい環境づくりと**住民の健康意識の向上**



※健康寿命とは...健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

新たに講ずべき施策

- マイナンバーの活用や市町村をはじめとする保険者と連携した上で、健康で元気で自立した高齢者等が増加するよう、インセンティブが付与される「**健康ポイント制度**」の導入検討
- 血圧、脈拍、活動量等が測定可能となる**ウェアラブル端末等**を活用し、健康状態などを把握・支援
- 薬局・スーパー、コンビニ等など、利便性の高い場所で**簡易健康診断**を実施する「**健康の気づきの拠点(仮)**」の設置
- 社員の**健康づくりに積極的な企業**に対する**インセンティブ付与**(例:公共事業の入札参加資格審査数値の加点 等)



人づくり(8)スポーツ活動を通じた県民総活躍の推進

概要

- 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け**競技力の向上**、事前合宿の誘致、**スポーツ環境整備**が必要
- スポーツを「する・みる・支える」に人々が、スポーツの楽しさや感動を分かちあい**主体的にスポーツを楽しむことができる環境づくり**
- 全ての県民が**スポーツを通じて心と体の健康づくり**を推進する環境の整備、**トップアスリートの育成・強化**、**優秀な指導者の養成確保**を推進し、**県民総活躍の場を創出**

新たに講ずべき施策

- 子ども、若者、高齢者まで幅広い層と一緒に楽しめる場として**全天候型の文化スポーツ施設(アリーナ)の整備**
- 人が集うエリア周辺への**スポーツ施設の設置**により、スポーツの試合や日常的な文化教養、コンサートでの活用を可能とし、住民の活動を通じたつながりを強めて**賑わいを創出**
- 地域活性化、**インバウンド**の観点で、富山空港と連携して海外からの観光客を取り込んでいくことができるよう**富山空港周辺のスポーツ施設の整備**
 (例)昨年、ワールドカップバレーボール2015男子予選第2ラウンド(9/16~18)を誘致
- スポーツフェスタやマラソン大会**等を開催し、**スポーツへの参加の機会づくりの充実**、**運動習慣の定着化**
- トップアスリートの育成強化**のため、**スポーツ医・科学的サポートの充実**、**一貫指導体制の推進**、**ICT技術を駆使した戦略や戦術の有効活用**による競技力の向上

輝かしい富山県初の個人種目金メダルの快挙

田知本 温【柔道70kg級】
(射水市出身)→小杉中学校
→小杉高校→東海大学
ALSOK所属

2016年6月10日
決勝 対アルヘアル(コロンビア) 合わせ技1本勝ち

登坂 絵莉【レスリング48kg級】
(高岡市出身)→南星中学校→至学館高校
(愛知県)→至学館大学
東新住建(株)所属

2016年6月17日
決勝 対スロバキア(スロバキア) 判定勝ち



富山県総合運動公園

人づくり(9)最先端地域交通システムによる交流促進

概要

- 自動運転技術などを活用した交通インフラの充実強化や、最先端技術を活用した利便性の高いシステムの整備により、**持続可能な公共交通**を実現することにより、地域間の交流を増加させ、地域を支える人づくりを推進



欧州における自動運転技術の公共交通へ実証事例(オランダ)
※国交省HPより引用(写真は英紙Guardian HPより引用)

新たに講ずべき施策

- 自動運転技術を活用したバスを、交通不便地域や都市部(主要駅～目的地まで数キロ)で導入するなど、**ラストワンマイル**(公共交通と自宅や目的地までの数キロ程度)の**自動走行**を実現

- 端末から利用希望情報を送信するだけで、必要な交通が確保され、必要なサービス(発着時間の連絡、決済など)が提供される「**公共交通提供システム**」の整備



このようなシステムを効率的、効果的に整備し、円滑な運営を行うため、交通事業者、県、市町村等が連携し、官民一体となったマネジメント組織を設置することも視野に入れて検討

(参考)海外におけるITを活用した新たな公共交通システムの事例(国交省HPより引用)
フィンランド(ヘルシンキ交通局)のKutsplus
・ヘルシンキ市街地中心部において運行されているミニバスシステム
・目的地指定⇒決済⇒ミニバスが乗客をピックアップ
・乗客たちのリクエストに応じたルートを実行 ※図はKutsplusのHPより引用

- AIやIoT技術を活用した、例えば降雪や積雪に対応可能な**自動運転による次世代型交通システム等のソフトウェアに関する研究開発**

- 外国人が公共交通を利用して県内を円滑に移動できるよう、交通情報やアナウンス等が翻訳され、端末に送信される「**交通情報翻訳システム**」の整備

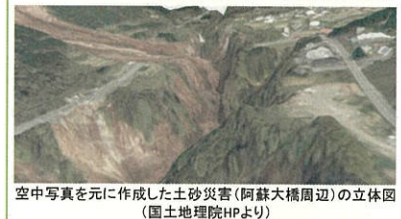
人づくり(10)最先端技術を活かした防災先進県とやま

概要

- IoT、ビッグデータ、ロボット、人工知能(AI)等を活用し、リアルタイムで災害情報を集約し、瞬時に情報を分析・共有・発信できる仕組みの構築
- 安全・安心な暮らしはもとより、他県や海外からも魅力的な防災先進県を目指すとともに、**防災意識の高い県民性**を醸成

新たに講ずべき施策

- リアルタイムで集約した**災害の予測情報や災害情報を官民で共有し、瞬時に発信する仕組み**の構築を通じ、住民の避難を円滑化
- G空間社会(地理空間情報高度活用社会)をより発展させ、災害時における**初動対応の迅速化**
(例:ヘリやドローン等から送信された映像等をリアルタイムで集約し、瞬時に関係者に共有される仕組みを構築)
- 新技術の研究開発による公共施設等の低コストかつ高い水準での維持管理(例:点検・モニタリング・診断技術やロボット技術の研究開発等)
山岳・防災・ドクターヘリ
- 24時間いつでもどこでも(山でも海でも)**ヘリコプターを活用して人命救助を向上するネットワークの構築**



空中写真を元に作成した土砂災害(阿蘇大橋周辺)の立体図
(国土地理院HPより)



空中写真と電子地図の重ね合わせによる断層帯周辺の亀裂分布図(国土地理院HPより)



(例)ドクターヘリ等が夜間時も安全に運航できる計器飛行の実現のため、GPS等を利用した広域航法経路の研究検討を国に働きかけ、夜間でも着陸可能なランデブーポイントを増やすなど人命救助に貢献

UAV(無人航空機)による橋梁の近接目視点検(国交省HPより)